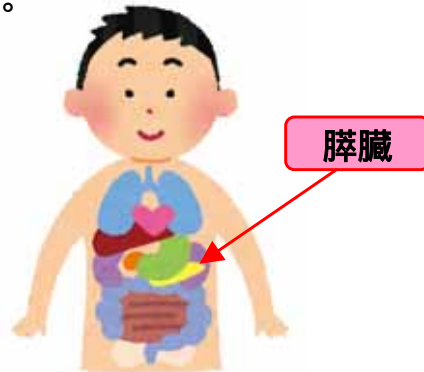


膵機能

膵臓はアミラーゼやリパーゼなどの消化酵素を、肝臓でつくられた胆汁と一緒に十二指腸に放出して糖、蛋白、脂肪などを分解し、小腸にて吸収しやすくする働きもしています。

膵炎などで膵臓の細胞が壊れると、特に消化酵素が血液中に漏れ出すような現象が起こります。消化酵素が一時的に増加すると尿中にもそれに応じて排泄されます。



- 基準値表 -

| 項目 | 異常域(低) | 境界域(低) | 基準域 | 境界域(高) | 異常域(高) |
|---------|--------|--------|--------------|--------------|--------|
| アミラーゼ* | | ~ 39 | 40 ~ 115 | 116 ~ 144 | 145 ~ |
| リパーゼ | | ~ 7 | 8 ~ 45 | 46 ~ 99 | 100 ~ |
| エラスターゼ1 | | ~ 99 | 100 ~ 300 | | 301 ~ |

* J S C C (日本臨床化学会) 標準化対応法

| | |
|---------|--|
| アミラーゼ | <p>アミラーゼはでん粉などの多糖類をグリコーゲンにかえる働きをします。膵臓の細胞が壊れると血中や尿中のアミラーゼが増えるので、急性膵炎や慢性（再発性）膵炎の診断に役立ちます。</p> <p>しかし腎臓病や高齢者ではアミラーゼを尿に排泄する働きが落ちるので、膵臓に異常がなくても血中アミラーゼ値が高くなる場合があります。</p> <p>アミラーゼは唾液腺からも分泌され、型が少し違います。血中アミラーゼ値が高い場合には、さらにくわしい検査で膵型と唾液腺型とを区別することも行われます。</p> |
| リパーゼ | <p>リパーゼは中性脂肪を脂肪酸とグリセリンに分解して小腸で吸収しやすくする働きをします。</p> <p>また、血液中にも少し流れ出るので、すい臓に異常が発生すると血液中の濃度も上昇します。急性膵炎や慢性膵炎ですい臓の細胞が壊れると高値を示します。</p> |
| エラスターゼ1 | <p>すい臓がんの腫瘍マーカーのひとつで、1と2のタイプがあります。血液中は1のタイプがほとんどで、早期の膵臓がんでは数値が上がるため、膵臓がんのスクリーニングに有用です。</p> <p>すい臓がんのほか、急性膵炎や慢性膵炎でも高値を示します。</p> |